

組合だより

2022/7/29

東京女子医大
労働組合

自らの要求実現と医療改善のために
貴方も労働組合へ加入しましょう！

みなさんの
加入を
まっけてます



貴方の加入
が労働組合
の力を強め
て、賃金・労働
条件の改善につな
がります！



19日に再度取り上げられた「文春オンライン記事」に法人・理事会は今度はどう対処するのですか？

一方で医療現場は人手不足が深刻！本当に理事会はまともな運営を行っているのですか？教職員の疑問や不安は深まる一方！



6/10付の理事会通達文書「文春記事に対する対応」のような説明内容では納得できません！

去る19日のネットオンラインニュースで、文春オンラインが「女子医大の間」と題して、3部に亘って岩本理事長にまつわる「疑惑の力ネ」に関する記事やそれを告発した職員の懲戒解雇問題などに焦点を当てた内容の記事が出されました。

この理事長にまつわる「疑惑の力ネ」の問題については、4月28日号の週刊文集で取り上げられ、教職員の間でも大きな関心を集めました。その後、記事内容に関して「情報漏洩」を理由に2名の職員が懲戒解雇され、さらに内部監査室を強化して教職員への締め付けを図るなど、少なくとも他大学では考えられないような対応が行われてきました。

労働組合は、週刊文春記事が出た際に、法人・理事会に対して再三に亘って教職員への釈明を求めてきました。しかし、6月10日付けで出された通達文書では、「不正は全くない。記事に対しては法的措置を講じる」と述べ、一方で「情報漏洩防止」のため内部監査室の強化を示すなど、およそ多くの教職員を納得させるよう

な内容ではありませんでした。現在、医療現場は深刻な人手不足が全く解消されず、教職員は疲労困憊の状況です。一体、学内ではまともな理事会運営が行われているのでしょうか。これだけの疑惑が噴出している状況を放置し続けることは、今後の病院運営にも大きな影響を与えることは明白です。このままでは教職員の疑問や不安は一層強まり、そのことが離職を助長し、必要人員の確保も困難をきたし、現場がさらに厳しい状況に陥ることは目に見えています。

◆組合ホームページへの声

あまりにもお金の動きが不透明すぎます。職員が頑張っていることが、どこに流れているのでしょうか？通常こんなことが起これば、理事会で問題になることが、問題にならない。これまでにも多くのことがありました。以前から続く女子医大の悪しき伝統に、現在の体制が拍車をかけています。あまりにもおかしい。必要な行政機関等が動くような事態だと思

います。しかしその動きに待ったがかかるといふようなことがあるのでしょうか？現場で踏ん張っている職員のためにも世間の力を借りなければ、理不尽な状況は、一生続きます。今回の事態に新しい弁護士の対応があることを掲示板で知りました。それが事実なら、余計なお金がかかります。過ちがあったのであれば、責任をとってください。(40代・男性・教育職)

そのために大学理事会は、早急に教職員が納得できる誠実な対応を示すべきではないでしょうか。

「文春オンライン」のネットニュース記事とは？

去る19日にネットオンラインで文春が大きく取り上げた記事で、3部構成になっています。第1部が、「いつ事故が起きてもお不思議ではない」名門・東京女子医大が「存続の危機」理事長「女カルロス・ゴーン」の「疑惑の力ネ」(内部資料入手)の見出しで始まり、第2部が「証拠書面入手」東京女子医大の女帝(75)が元タカラシエン又親族企業に1億円超支出の「公私混同」の見出し、第3部が「疑惑の力ネ」を告発した職員を懲戒解雇東京女子医大内部監査室は「まるで秘密警察」の見出しで、十数ページに亘って取り上げています。

♥あなたも労働組合に加入しましょう♥

★黙っていては何も解決しません。組合員で加入して理事会に要求・声をぶつけましょう！★

●第一支部(新宿本院)【内線】38811 【直通】3357-3785

※連絡が取れない時はメール(joshiidairouso@yahoo.co.jp)を活用して下さい

●第二支部(足立医療)【内線】24512(昼休み時間連絡可能) ※ホームページもあります